

区分・種別	県指定有形文化財（工芸品）		
名称	どうせんじょうわしょうほう 銅銭承和昌宝 30枚		
所在地	新居浜市黒島		
所有者	明正寺	管理団体	
指定年月日	昭和40年4月2日		
解説	<p>この銅銭は一文銭で直径2.1cm、皇朝十二銭の一つであり、承和2（835）年1月鑄造されたものである。和同開珎^{わどうかいほん}から6番目にあたる。銅質や鑄造が粗悪でほとんど通用しなかつたらしく、嘉祥元年（848年）、通貨は「長年大宝」に代わった。</p> <p>この古銭は、明正寺本堂の須弥壇^{しゅみだん}下から陶製小壺に50枚入って出土したが、うち20枚は散逸したという。おそらく鎮壇具として埋納されたものと推察される。</p> <p>隆平永宝（796）年以降の平安時代の銅銭で、1か所からこのように多数の同文の銅銭が出土した例はまれであり、歴史資料として貴重な遺品である。</p>		

